

大久野島ビジターセンター便り

Vol.86 (R4.1.23)

今シーズンの冬は例年に比べて、厳しい寒さが続いています。島は強い風が吹き抜ける日も多いので、体感温度が下がってよりいっそう寒く感じます。そんな中でも、動植物たちはいつもと変わらず元気いっぱいにご過ごしています。一生懸命、餌を探している様子や仲間と過ごしている様子を見ると、心はポカポカとしてきますね！

今回は、島の動植物の様子をみなさんにお届けいたします。



【カワラヒワ 2022.1.17 撮影】

・毒ガス資料館の裏に数羽が餌を探しにきていました。地面を見ながら、嘴で何かをついばんでいました。カワラヒワは木の種や昆虫などを食べて暮らしています。



【ツグミ 2022.1.17 撮影】

・島では、餌を求めて地上に下りている姿をしばしば見かけます。胸をはったような姿勢で周囲を見回して警戒しながら、すばやく歩き回って餌を探していました。



【サザンカ 2022.1.23 撮影】

・花の少ないこの時期に、きれいなピンクの花を咲かせて楽しませてくれています。特に雨の日は、よりいっそうはっきりとしたピンク色に見えて綺麗です。



【カイウサギ 2022.1.23 撮影】

・雨や風で落ちてきた常緑樹(クスノキ)の葉っぱや、サザンカの花びらなどを食べていました。雨にぬれても、たくましく暮らしている様子に元気ももらいました。

うさぎの食べ残しの持ち帰りにご協力ください！

多くの人を訪れる日には、来島者の持ち込む餌が大量になり、ウサギが食べ残した餌が放置されてゴミになっています。

余った餌は、イノシシ、カラス、ネズミ等の餌にもなっています。そのため、イノシシやネズミの増える原因につながっています。また、島のあちこちに放置された野菜が腐って大変困っています。

放置されたウサギの食べ残しは、散らばっているものは少しに見えるのですが、島内のものを集めるとかなりの量になります。余った餌や持ち込んだものは放置をせず、お持ち帰りくださるようご協力をお願い致します。

● 2021年10月10日(日)



● 2021年10月24日(日)



● 2021年11月20日(土)



●2021年11月21日(日)



● 2021年12月19日(日)



●2022年1月9日(日)



大久野島ビジターセンター便り vol. 86 R4. 1. 23 発行
発行・編集：大久野島ビジターセンター
〒729-2311 広島県竹原市忠海町大久野島
電話・FAX：(0846) 26-0100
開館：9:00～16:00 休館日：水曜日（1-2月は水・木）
お問い合わせなどはこちらまで 担当 馬場